

都産技研の戦略的研究開発 重点4分野 2

環境・省エネルギー

重点4分野とは

都産技研では、平成23年度から第二期中期計画において、技術シーズにつながる戦略的な研究開発を積極的に実施し、その成果を都内中小企業へ応用展開し、新事業を加速させる取り組みを強化しています。今後の成長が期待される「バイオ応用」、「環境・省エネルギー」、「EMC・半導体」、「メカトロニクス」の4つを重点技術分野と位置づけ、都産技研独自で実施する基盤研究における4分野のテーマ数の割合を40%以上とするなど注力して実施しています。

環境・省エネルギー分野のご紹介

8月号から4回連続で重点4分野について紹介しています。第2回は「環境・省エネルギー」分野です。環境・省エネルギー分野では、都産技研が保有するシーズ技術を中小企業の製品開発ニーズに適合するよう共同研究などの実施により、製品化・事業化に発展しています。

都産技研のブランド試験である「照明試験」や「環境防かび試験」では、省エネルギー型LED照明や、安全性の高い防かび剤の製品化を行っています。また、これらの技術の蓄積により、新たな評価技術の確立やその測定装置の開発を実施し、次世代の製品開発をより活発化させています。

また、都産技研では、循環型や低負荷型の環境技術の開発も進めています。循環型環境技術では、微生物利用によるレアメタル回収や再生物質の収率改良、低負荷型環境技術では、規制有害物質を排出しないめっき法の開発や揮発性有機化合物の浄化技術開発などを推進しています。

このように、さまざまな製品用途に応じた環境・省エネルギー技術の開発により、付加価値の高い製品開発をこれからも支援していきます。

contents

■ 特集 — 重点4分野

都産技研の戦略的研究開発 重点4分野 2

環境・省エネルギー	2
研究紹介	4
重点4分野 フォーラムのご案内	5
都産技研セクター紹介① 実証試験セクター	6
研究・設備紹介 TIRI 研究現場のいま 未来	8
イノベスタ2013開催のお知らせ	9
多摩テクノ広場	10
INFORMATION	11
Topics	12

新エネルギー創出技術における基盤研究を開始



環境技術グループ
グループ長

瓦田 研介

環境・省エネルギー分野は、重点4大技術分野の一つとして新産業の育成と都内中小企業による新サービスの創出に貢献することを目指しています。環境技術グループでは、被災地で発生した廃木材中の塩素濃度を迅速かつ簡易に測定できる自動計測装置を中小企業とともに製品化し、震災復興支援に貢献しました。また、製品の特徴に合わせた防カビ剤のオーダーメイドによる独自開発や、ブラウン管ガラス廃棄物から製造したガラス発泡体によるリン回収システムの開発など、研究成果を中小企業へ速やかに技術移転し、製品化・事業化へ結び付けました。最近では、関東経済産業局の主導によるマテリアルフローコスト会計(MFCA)を取り上げ、著名な専門家をエンジニアリングアドバイザーにお迎えして、製造業に加えてサービス産業に携わる中小企業の環境経営を支援しています。さらに、昨年度から新エネルギー創出技術の開発について基盤研究を開始し、東日本大震災が契機となったエネルギー供給の多様化に対応できる技術開発に取り組んでいます。賦存量の大きい植物系廃棄物に微生物が分泌した菌体外酵素を作用させることで、化学原料の製造やバイオエタノール原料の効率的製造を目指しています。

照明・音響・赤外線における総合的な技術支援



光音技術グループ
グループ長

山本 哲雄

省エネの促進、環境技術の開発が社会的課題となっています。光音技術グループでは、照明・音響・赤外線の3分野を通して、環境・省エネルギーに重点をおいた研究・試験・相談事業に取り組んでいます。照明分野では、ランプや照明器具の光束測定や配光測定、音響分野では、建設材料などの遮音・吸音特性や電気機器類の騒音測定、赤外線分野では、ヒーターや赤外線放射材の赤外分光特性など、中小企業の皆さまのご要望にお応えできる品質の高い性能評価サービスを提供しています。最近では、省エネ性能の高いLED照明器具や、騒音を低減させて快適な環境を創り出す電気機器、省エネを重視した赤外線パネルヒーターなどの開発支援を積極的に行っています。今後も、照明・音響・赤外線の総合的な技術支援にきめ細かく取り組んでいきます。また、お客さまのご要望の高かった、照明や音響測定機器が利用できる暗室と防音機能を備えた測定室を整備し、機器利用での貸し出しも始めました。今後ご要望の高い測定機器を設備していきますので、ぜひご利用ください。